

(件名) 鹿児島港本港区スポーツ・コンベンションセンター事業に関する陳情書(1項)

(参考) 2項は文教観光委員会に付託(陳情第4068号)

(陳情の趣旨)

先日、北海道北見市が「持続可能な財政は困難」と市長が発表するニュースを見ました。人口減少の加速を無視して、118億円で市役所を建て替えたり、35億円で図書館を建てたりして財政危機に陥っています。

市民サービスは削られ、使用サービス料金は値上がりして、ごみ袋は900円から1350円に上がり、資金がないため小中一貫校の設立が白紙になり教育面にも影響がでています。市民は激怒りでした。

無計画な事業を続けていたら鹿児島もこうなりませんか。

借金1兆4599億円、自主財源36%の貧乏県です。確実に人口減少の加速は進んでいくのですよ。

一部の県議会議員が「長く話し合ってきた事だから変えられない」みたいな事を言っていると聞いたのですが、このような理由で本当に事業が進んで行くのであれば、鹿児島も北見市みたいになりませんか。政治の素人でも想像できます。

鹿児島県議会は、誰のために、何のためにあるのですか。

もっと責任をもって真剣に議論して下さい。

未来の鹿児島に責任をもって、持続可能な街づくりを考えて下さい。ドルフィンポート跡地は街づくりの中心になる場所です。体育館は、別な場所でもよいのではないのでしょうか。

以上の趣旨に基づき、下記事項を陳情します。

1. 財政や人口減少の事も考え、未来に責任を持った議会であるようお願いいたします。
2. このスポーツ・コンベンションセンター事業を抜本的に見直し、持続可能な街づくりの真剣な検討を要望します。